

授業科目名 (ナンバリングコード)	保健体育科教育法Ⅰ (152A0-1300)		授業形態	講義		授業科目区分		教職科目 (専門)		
担当教員名	浜田 幸史・梶 ちか子					補助担当者名				
単位数	2 単位		履修年次	2年次		受け入れ人数		170名程度		
授業の概要	本授業では、保健体育教員を目指すためのガイダンスの内容を取り上げる。特に、保健体育教員として身に付けておかねばならない資質・能力に関する内容としての授業づくりや教材研究の進め方、部活動指導への関わり方などについて理解を深めることができるようにする。さらに、学級経営や生徒指導など学級担任として果たさなければならない役割等についても理解することができるようにする。また、都道府県及び政令指定都市における教員採用選考試験の内容についても調べ、見通しを立てながら計画的に準備を進めることができるようにする。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	指導者基礎力、専門的な知識・教養 (一般教養・倫理)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	保健体育教員として身に付けておかねばならない資質・能力や教育課題について理解している。	○				○		50
		■情意的領域	保健体育教員として身に付けておかねばならない資質・能力や教育課題について理解するために、授業に積極的に参画しようとする。	○			○			30
■技能的領域	教員採用選考試験の動向、運動部活動の在り方について考察したことをわかりやすく書き表すことができる。			○				20		
成績評価の基準	授業の到達目標に則り、上記のとりの割合で、授業への参画状況や、レポート、定期試験等の内容から総合的に評価します。また、3分の2以上の出席がない場合、履修放棄と見なし、定期試験の受験を認めません。									
テキスト、教材 参 考 書	文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編』 文部科学省『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説保健体育編 体育編』 杉山重利・佐藤豊・園山和夫編著『新・目指そう保健体育教師』朝日出版社 伊藤博子著『保健体育教師になろう』大修館書店									
履修条件・ 関連科目	関連科目は、教職科目全般です。			備考(教員メッセージ含む)		実務経験のある教員による授業科目です。学校現場に適応できるよう指導していきます。 保健体育教員を目指すに当たってのガイダンスの内容を学習します。本科目を受講して教職についての理解を一層深め、保健体育科教育法Ⅱ～Ⅳの履修に向けての見通しを立ててください。				
オフィス・アワー	随時：浜田（研究棟6階608教員研究室） 梶（研究棟7階703教員研究室）									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	浜田 幸史 梶 ちか子	オリエンテーション、保健体育教員の仕事				授業内容の復習（30分）				
2	〃	我が国の学校と教員、今日的教育課題				授業内容の復習（30分）				
3	〃	保健体育教員を目指すには 出身地の「教員採用選考試験の動向」についてのレポート				授業内容の復習（30分） レポート作成（2時間）				
4	〃	保健体育教員に求められる資質・能力とは				授業内容の復習（30分）				
5	〃	体育授業の指導1				授業内容の復習（30分）				
6	〃	体育授業の指導2				授業内容の復習（30分）				
7	〃	体育授業の指導3				授業内容の復習（30分）				
8	〃	体育理論授業の指導				授業内容の復習（30分）				
9	〃	保健授業の指導1				授業内容の復習（30分）				
10	〃	保健授業の指導2				授業内容の復習（30分）				
11	〃	運動部活動の指導 「運動部活動の在り方」についてのレポート				授業内容の復習（30分） レポート作成（2時間）				
12	〃	学級担任の仕事				授業内容の復習（30分）				
13	〃	教育実習のねらいと実際				授業内容の復習（30分）				
14	〃	教育実習Q＆A				授業内容の復習（30分）				
15	〃	教員採用試験合格を目指して				授業内容の復習（30分）				
16	〃	学期末試験				学期末試験内容の復習（30分）				